

アナグリフ地形判読にもとづいた日本列島の海底段丘分布図

A distribution map of submerged terraces around the Japanese Islands based on the interpretation of submarine anaglyph images

*小松 哲也¹、泉田 温人²、高橋 尚志²、舟津 太郎²、村木 昌弘²、宝蔵 蓮也²、野村 勝弘¹、丹羽 正和¹、須貝 俊彦²

*Tetsuya Komatsu¹, Atsuto Izumida², Takayuki Takahashi², Taro Funatsu², Masahiro Muraki², Renya Hohzoh², Katsuhiko Nomura¹, Masakazu Niwa¹, Toshihiko Sugai²

1. 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、2. 東京大学大学院新領域創成科学研究科

1. Japan Atomic Energy Agency, 2. Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo

地層処分の信頼性向上に向けた技術開発課題の一つが、海域を含めた沿岸部付近における隆起・侵食に係る調査・評価技術の高度化である。この課題に取り組むためには、現在の陸域だけでなく、氷期に広く陸化すると考えられる大陸棚において地殻変動と侵食の指標となる地形の分布やその特徴を知る必要がある。大陸棚にみられる段丘状地形、いわゆる「海底段丘」は、海水準変動と地殻変動との重合により形成された可能性があるが、その発達過程はおろか、分布についても良くわかっていない。そこで、本研究は、海底段丘の発達過程の理解に向けた基礎資料となる日本列島の海底段丘分布図を、海底地形デジタルデータ（M7000シリーズ）から作成したアナグリフ画像の地形判読に基づき作成した。本発表では、日本列島周辺の海底段丘分布の全容を示すとともに、様々な場に発達する海底段丘の地形的特徴（平面分布、縦断プロファイル、分布深度等）を紹介する。本報告は経済産業省資源エネルギー庁委託事業「平成29年度地層処分技術調査等事業（沿岸部処分システム高度化開発）」の成果の一部である。

キーワード：地層処分、海底地形、海底段丘、アナグリフ、日本列島

Keywords: geological disposal, seafloor landform, submerged terrace, anaglyph, Japanese Islands